

第6回岩倉市人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生  
総合戦略検討委員会 議事録

日時：平成28年3月10日（木）午後4時00分～5時10分

場所：岩倉市役所7階第1委員会室

出席者

委員：千頭委員、井上委員、村田委員、水越委員、加藤委員、櫻井委員、廣中委員、  
宮川委員、田中委員、廣田委員、日比野委員

事務局：副市長、総務部長、秘書企画課長、小出、渡辺  
加藤（地域問題研究所）

傍聴者：1名

1 開会

事務局

第6回岩倉市人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会を始めさせていただきます。

2 委員長あいさつ

千頭委員長

先日、国勢調査の速報値が発表されましたが、2010年と比べると90万強の減少ということで、日本全体が人口減少時代に入ってきたということになります。その事を後ろ向きに考えるのではなく、それを前提にいろいろなことをやっていかななくてはなりません。既に岩倉市は地方創生先行型ということで取り組んでおられますが、これからは検証が重要になってきます。そういった意味でも本日の会議は重要ですので、よろしくをお願いします。

3 議題

(1) 岩倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

【「岩倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を事務局より説明】

(2) 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）事業の実施状況について

【資料1「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方先行型）事業実施状況」を事務局より説明】

委員

(資料1:「空き家等利活用推進事業」) 空き家等利活用推進事業について、K P I で 300 件、実績では 542 件とありますが、どの程度の範囲で捉えた数なのでしょう。

事務局

全域での数値です。調査方法としましては、水道の閉栓情報と広報紙の配達の情報に基づいて委託調査員の目視により、調査しました。このため、確定した空き家数ということではなく、空き家候補としての数ということになります。

委員

この数は多いのでしょうか、少ないのでしょうか。

事務局

K P I の 300 件については、住宅土地統計調査というものがありますが、その中での推計値が 500 件程度になっていましたので、それほど多くはないとの見方から 300 件としました。

委員長

空き家率としてはどのくらいでしょうか。

事務局

全体では 12 パーセントを超えていますが、その割合はマンション等集合住宅の空き家も含めています。戸建のみの空き家率はデータはありません。

委員長

全体の割合で愛知県の平均と比べた場合どうなのでしょう。

事務局

平成 25 年の確定値が出ていますが、愛知県の平均よりは低かったと記憶しております。

井上委員

岩倉は自転車泥棒や自動車泥棒などの犯罪率が愛知県で上から 10 位以内に入るほど高いが、こと防犯については行政だけではやりきれない部分もあることから、地域の協力も得て真剣に取り組むべきと考えます。犯罪率については確認しておいていただきたい。

委員長

(「岩倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」: 47 ページ) 放課後子ども総合プランの推進について、K P I が放課後児童クラブの利用定員数を増やすとなっておりますが、先行型のほうでは学校施設での利用数が 40 名だったのが 55 名になったとしています。どちらも文章中には学

校施設という文言は含まれていますが、全体として利用者数を増やすことに力点を置くのか、学校施設利用に力点を置くのか考えをうかがいたい。

事務局

現在、7つの児童館がありますが、学校施設に移すことにより定員が増えていくと理解しています。

放課後児童クラブについては、1小学校区で6年生までにしましたが、他小学校区も順次、6年生まで拡大していきます。物理的にも児童館だけでは対応できない状況になってきます。K P Iについては、岩倉市全体での数とご理解ください。

### (3) 検証委員会について

【資料2「(安) 岩倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会設置要綱」を事務局より説明】

委員

委員会の開催頻度はどのくらいでしょうか。

事務局

平成28年度は2回を予定しており、上半期を終えた頃に1度、年度末に1度といった考えでおります。

委員長

年度末にその年度の結果をまとめることはできそうですか。

事務局

委員長ご指摘のとおり、年度末では数値的に出しきれない部分もあるかと思いますが、年度末に1度開かせていただき、その時の状況を勘案しながら翌年度以降の開催を設定していきたいと思っております。

副市長（あいさつ）

皆様のお陰をもちまして、岩倉市のまち、ひと、しごと創生総合戦略をつくることができました。改めてお礼を申し上げたいと思っております。これからは、どのように進めていくかが大事となってきます。上手に予算を配分しながら、各事業に取り組んでいきたいと思っております。これらの事柄は、全部署体制で当たらなくてはなりませんので、しっかりコントロールしながら進めていこうと思っております。岩倉の人口が増え、元気になったと言われるようにしていきたいと思っております。ありがとうございました。

#### 4 その他

##### 事務局

(委員長による国勢調査の発言を受け) 先ほど国勢調査の話がありましたが、岩倉市は平成22年の国勢調査では、47,340人でしたが、平成27年度の速報値では47,563人ということで223人の増加となっています。今年の秋頃には確定値が発表されますが、シミュレーションも最新の確定値を基に再度行うことになるのではないかと考えています。近隣の状況としては、江南市と犬山市が大きめのマイナスとなり、尾北エリアの他市はプラスとなっています。愛知県としてはプラスであったものの、伸び率は過去最低となっています。

##### 委員長

2005年から2010年に一旦下がったが、それがもう一度持ち直しているの、この5年間がどちらに向くかといった意味で重要な5年間になると思います。

##### 事務局

駅東には賃貸マンションが建ち、南側にも分譲マンションが建設中ですが、岩倉では7年ぶりということになっています。近々の人口は増えるかもしれませんが、5年後は分からないので、戦略に定めたことをきちっとやっていかななくてはならないと思います。

##### 副市長

県の規制緩和施策があり、調整区域に戸建住宅が建ちましたが、それも影響していると思います。

##### 委員長

次年度以降の交付金についてご説明いただけますか。

##### 事務局

28年度には正式名称が地方創生推進交付金と呼ばれる、内閣府の認定を受け複数年の事業を進めていくという形の交付金ができます。27年度の国の補正予算による交付金で地方創生の加速化交付金というのがありますが、岩倉市はこれに2本申請しています。これは採択によるものであるため、通るかどうかは提案の内容次第ということになりますが、1つは、地域産業の活性化事業ということで、個別出張相談に関するもの。もう1つは、プロモーションとホームページを組み合わせる移住定住を促進していこうというもので申請しています。この結果は3月20日頃となっています。これが付けば当初予算で考えているよりも充実した事業ができると考えています。

##### 委員

採択は、より魅力的な提案をしたところが取ることになるのですか。

事務局

そういうことになります。地方創生先行型の場合では、予算規模が1,400億円で、人口規模や財政規模で補正がされますが、各市町村には上限が示されています。岩倉市については、4,000万円が上限として示されています。

今回は、市単独ではなく広域的な連携を図った内容だと、審査で有利にはたらくと聞いていますが、岩倉市は単独での申請をしています。

委員長

補助金を受けて事業を進める際、重要なことは、事業を実際に進めていく上で出てくる課題を次へつなげていくことで、その課題の解決が重要であることや次の補助金対象が何であるかを国に訴えていく必要があると思います。

事務局

余談ですが、去年夏、転入、転出者のアンケートを実施しましたが、今週の月曜日から1階総合窓口で転入、転出者のアンケートを恒常的に実施するようにしました。調査項目は少ないですが、ある程度の要因分析ができるのではないかと考えています。

委員長

戦略全体を市民の皆様にお伝えするのは難しいかもしれませんが、岩倉市が今年、来年頑張ろうとしていることをお伝えすることは大事だと思います。いままで以上に目立つ形で広報に載せてはどうでしょうか。

事務局

広報紙の4月1日号に1ページを使用し掲載してあります。今後、周知という部分では頑張っていかななくてはならないと感じています。

委員長

市民に内容を分かりやすく伝えるためには、戦略は中身の具体的な施策について説明するほうがよいのではないのでしょうか。

委員

やはり中身について具体的に分かりやすく書くべきだと思います。例えば、放課後児童クラブは何時から何時まで、何処でやっていますよといった具合に分かりやすい言葉で書くほうがよいと思います。

委員

堅い言葉で書かれた部分は読み飛ばしてしまう。見出しは大事です。

事務局

ご意見ありがとうございました。今後の課題とさせていただきます。

**【4月以降設置の推進委員会について事務局より説明】**

以上